

出雲の特産品の栽培技術を学びませんか。

出雲市アグリビジネススクール 令和8年 受講生募集

出雲市アグリビジネススクールでは、新規就農・定年帰農をめざす方を対象に、次の5講座を令和8年1月から12月にかけて開講します。

出雲の特産品の栽培技術を一緒に学びませんか。

ぶどう
チャレンジ
講座
⇒2ページ

柿
チャレンジ
講座
⇒3ページ

多伎いちじく
チャレンジ
講座
⇒4ページ

アスパラガス
& 神在ねぎ
チャレンジ
講座 ⇒5ページ

出雲の
特産品

きゅうり
チャレンジ
講座
⇒6、7ページ

受講期間 令和8年1月～12月

受講料 年額12,000円（1講座あたり）

定員 各講座10人（受講生決定にあたっては、面接を実施します。）

応募要件

- ①出雲市に住民登録のある人、又は出雲市で農業をはじめる人
- ②研修会場まで各自で通うことができる人
- ③必要最小限の農具を使用できる人
- ④受講中のけが等に備え傷害保険に加入できる人
（傷害保険の保険料は受講生負担で加入してください。受講料には、含みません。）

申込方法 受講申込書（9ページ）を提出してください **申込期限** 令和7年11月28日（金）

〔申込先・おたずね〕 出雲市役所 農業振興課 農業支援センター
（電話 21-6122 FAX 21-6998 E-MAIL industry@city.izumo.shimane.jp）

・・・・・・・・・・ぶどうチャレンジ講座・・・・・・・・・・

テキストを使った講義（座学）及び研修圃場での栽培研修（実習）により、デラウェア、シャインマスカット栽培の基礎知識を学びます。また、全体研修として全ての農業者が共通して身につけておく必要がある農薬、肥料、土壌、農機具等の基礎知識を学びます。

◇研修カリキュラム（予定） ※日程や内容は、天候やぶどうの生育状況等により変更することがあります。

回数	日時	内 容
第 1 回	1 月 22 日(木)	【座学】ぶどう品種の説明、生産流通、販売の基礎
第 2 回	2 月 19 日(木)	【座学】デラウェア、シャインマスカットの栽培管理 ぶどうの病虫害
第 3 回	3 月 19 日(木)	【実習】苗木の植え付け
第 4 回	4 月 23 日(木)	【実習】芽かき、摘芯、デラウェアジベレリン処理、苗木管理
第 5 回	4 月 30 日(木)	【実習】シャインマスカット花穂散布
第 6 回	5 月 7 日(木)	【実習】シャインマスカット誘引、花穂調整、薬散布等
第 7 回	5 月 14 日(木)	【実習】シャインマスカットジベレリン処理 1 回目、 デラウェアジベレリン処理 2 回目
第 8 回	5 月 21 日(木)	【実習】デラウェア摘粒
第 9 回	5 月 28 日(木)	【実習】シャインマスカットジベレリン処理 2 回目、 粗摘粒（シャインマスカット）
第 10 回	6 月 4 日(木)	【実習】デラウェア夏季剪定、防除（薬散布）
第 11 回	6 月 11 日(木)	【実習】シャインマスカット摘粒（見直し）
第 12 回	7 月 2 日(木)	【実習】デラウェア夏季剪定、シャインマスカット夏季剪定
第 13 回	7 月 9 日(木)	【実習】シャインマスカット摘粒（仕上げ）防除（薬散布）
第 14 回	7 月 10 日(金)	【実習】袋掛け
第 15 回	7 月 16 日(木)	【実習】デラウェア収穫、箱詰、出荷調整
第 16 回	7 月 23 日(木)	【視察】ぶどう集出荷所の視察
第 17 回	7 月 30 日(木)	【実習】枝管理
第 18 回	8 月 27 日(木)	【実習】シャインマスカットの収穫、箱詰、出荷調整
第 19 回	10 月 8 日(木)	【実習】土壌改良、施肥と土壌管理
第 20 回	11 月 12 日(金)	【実習】ぶどうの剪定、剪定枝処理
農業基礎全体研修		詳細は、8 ページを参照してください。

◇ところ／【座学】県出雲合同庁舎（大津町 1139）
【実習】研修圃場（浜町）



・・・・・・・・・・柿チャレンジ講座・・・・・・・・・・

テキストを使った講義（座学）及び研修圃場での栽培研修（実習）により、柿栽培の基礎知識を学びます。また、全体研修として全ての農業者が共通して身につけておく必要がある農薬、肥料、土壌、農機具等の基礎知識を学びます。

◇研修カリキュラム（予定） ※日程や内容は、天候や柿の生育状況等により変更することがあります。

回数	日程	内 容
第 1 回	1 月 21 日(水)	【座学】 柿の品種、柿の栽培管理
第 2 回	2 月 4 日(水)	【座学・実習】 土づくり、施肥
第 3 回	3 月 4 日(水)	【座学】 柿の気象災害対策
第 4 回	4 月 8 日(水)	【座学・実習】 柿の病害虫
第 5 回	5 月 13 日(水)	【座学・実習】 摘蕾、芽かき、接ぎ木
第 6 回	6 月 10 日(水)	【座学・実習】 新梢管理
第 7 回	7 月 8 日(水)	【座学・実習】 摘果、夏枝管理
第 8 回	8 月 5 日(水)	【座学・実習】 摘果、夏枝管理
第 9 回	9 月 16 日(水)	【実習】 収穫前仕上げ管理（反射シート敷設）
第 10 回	10 月 21 日(水)	【実習】 収穫（西条柿）・選別・脱渋方法
第 11 回	11 月 4 日(水)	【実習】 収穫（富有柿）・礼肥
第 12 回	11 月	【視察】 先進的農家視察研修
第 13 回	12 月 9 日(水)	【実習】 落葉処理、整枝・剪定の基礎知識
第 14 回	12 月	【実習】 整枝・剪定
農業基礎全体研修		詳細は、8 ページを参照してください。

◇ところ／【座学】 JAしまね平田中央支店（平田町 7158）
 【実習】 研修圃場（多久谷町）



・・・・・・・・多伎いちじくチャレンジ講座・・・・・・・・

テキストを使った講義（座学）及び研修圃場での栽培研修（実習）により、いちじく（蓬莱柿）栽培の基礎知識を学びます。また、全体研修として全ての農業者が共通して身につけておく必要がある農薬、肥料、土壌、農機具等の基礎知識を学びます。

◇研修カリキュラム（予定） ※日程や内容は、天候やいちじくの生育状況等により変更することがあります。

回数	日程	内 容
第1回	1月19日(月)	【座学】 いちじくとは？（生理形態） 庭木と栽培の違い（整枝剪定の意義）
第2回	2月16日(月)	【座学】 いちじく栽培のほ場づくり（土づくり、施肥） 【実習】 土づくり、施肥
第3回	3月16日(月)	【座学】 いちじくを植える（苗、穂木の準備、定植、挿し木） 【実習】 挿木づくり、定植、挿し木
第4回	4月20日(月)	【座学】 いちじくの病害虫
第5回	5月18日(月)	【座学】 生産性の高い木をつくるために① （必要な芽の確保：芽かき、芽傷処理） 【実習】 芽かき、芽傷処理、水管理
第6回	6月22日(月)	【座学】 生産性の高い木をつくるために② （新梢管理：誘引、摘心） 【実習】 誘引、摘心、敷き草
第7回	7月13日(月)	【実習】 除草の意義（除草作業）
第8回	8月17日(月)	【視察】 先進的農家の管理状況確認、多伎いちじく生産部会の活動
第9回	9月14日(月)	【実習】 いちじくの収穫（収穫適期の確認、規格分け、調整）
第10回	10月19日(月)	【座学】 収穫後の管理 （落葉までの樹勢維持、礼肥、越冬病害虫対策） 【実習】 礼肥、越冬病害虫対策
第11回	12月7日(月)	【実習】 整枝・剪定（剪定、片付け：剪定枝、落葉の処理）
農業基礎全体研修		詳細は、8ページを参照してください。

◇ところ／ 【座学】 JAしまね多伎支店（多伎町多岐 17-1）
【実習】 研修圃場（多伎町）



．．．．．アスパラガス & 神在ねぎチャレンジ講座．．．．．

テキストを使った講義（座学）及び研修圃場での栽培研修（実習・視察）により、アスパラガスと神在ねぎの栽培の基礎知識を学びます。また、全体研修として全ての農業者が共通して身につけておく必要がある農薬、肥料、土壌、農機具等の基礎知識を学びます。

◇研修カリキュラム（予定） ※日程や内容は、天候や野菜の生育状況等により変更することがあります。

回数	日程	内 容
第1回	1月30日(金)	【座学】年間スケジュール（基本的な栽培技術）について
第2回	2月13日(金)	【実習】収穫・調製（神在ねぎ）
第3回	3月27日(金)	【実習】春芽の収穫（アスパラガス）
第4回	4月24日(金)	【実習】播種（神在ねぎ）
第5回	5月29日(金)	【実習】整枝、施肥（アスパラガス）
第6回	6月12日(金)	【実習】定植（神在ねぎ）
第7回	6月26日(金)	【実習】夏芽の収穫、整枝（アスパラガス）
第8回	7月17日(金)	【実習】土寄せ・除草作業①（神在ねぎ）
第9回	8月7日(金)	【視察】アスパラガスパッキングセンター見学 【座学】これまでの振り返り
第10回	9月25日(金)	【実習】土寄せ・除草作業②（神在ねぎ）
第11回	11月27日(金)	【実習】土寄せ・除草作業③（神在ねぎ）
第12回	12月25日(金)	【実習】茎葉刈り取り、圃場外へ持ち出し（アスパラガス）
農業基礎全体研修		詳細は、8ページを参照してください。

◇ところ／【座学】JAしまね長浜支店（長浜町 337-22）
【実習】研修圃場（浜町・西園町）

【アスパラガス研修圃場地図】



【神在ねぎ研修圃場地図】



．．．．．きゅうりチャレンジ講座．．．．．

テキストを使った講義（座学）及び研修圃場での栽培研修（実習・視察）により、きゅうり栽培の基礎知識を学びます。また、全体研修として全ての農業者が共通して身につけておく必要がある農薬、肥料、土壌、農機具等の基礎知識を学びます。

◇研修カリキュラム（予定） ※日程や内容は、天候やきゅうりの生育状況等により変更することがあります。

回数	日程	内 容
第 1 回	1 月 27 日(火)	【座学】年間スケジュール（基本的な栽培技術）について
第 2 回	2 月 17 日(火)	【実習】春作定植（加温ハウス）
第 3 回	3 月 10 日(火)	【実習】春作定植（無加温ハウス）
第 4 回	4 月 21 日(火)	【実習】芽かき・誘引
第 5 回	5 月 12 日(火)	【視察】選果場見学
第 6 回	6 月 2 日(火)	【実習】収穫
第 7 回	7 月 28 日(火)	【実習】収穫・片付け
第 8 回	8 月 10 日(月)	【実習】秋作定植
第 9 回	9 月 1 日(火)	【実習】芽かき・誘引
第 10 回	10 月 6 日(火)	【実習】収穫・芽かき
第 11 回	11 月 2 日(月)	【実習】収穫
農業基礎全体研修		詳細は、8 ページを参照してください。

◇ところ／【座学】JAしまね湖陵支店（湖陵町差海 63-2）
【実習】研修圃場（大島町）



令和8年 新規開講

新規就農をめざそう!「きゅうりチャレンジ講座」

意外と知らない? 出雲市産きゅうりの魅力!

★ 栄養バランスよし! 一年草の夏野菜!

きゅうりは約90%が水分ですが、カリウムやβ-カロテン、ビタミンC、亜鉛、マグネシウムなどの栄養素がバランス良く含まれています。

★ 施設で栽培! ほぼ1年中収穫可能!

出雲市のきゅうりは、施設内(ハウス)で土を使って栽培されています。

2月から定植が始まり、出荷期間は3月~12月と、ほぼ一年中収穫できます。

★ 市場でも大好評!

地元市場を中心に山陰各地の市場へ出荷され、鮮度の良さからとても好評です。

★ 若い生産者が活躍中!

近年は若い生産者が加わり、生産量も増加しています。

★ 初めてでも安心!

JAしまね出雲きゅうり部会の全面的なサポートを受けて受講できます。



きゅうり栽培の経営モデル(就農5年目)

経営面積	施設(パイプハウス): 20 a ※ 3.3 aハウス×6棟
農業所得	販売額 1,089 万円、支出 842 万円、所得 247 万円(就農5年目)
設備投資額	約 5,600 万円(うち 2,100 万円は自己資金又は借入金) ※島根県の補助事業を活用したハウス建設を想定
年間総労働時間	3,221 時間(家族労働力1人+パート雇用)

・補助金や無利子資金を活用します。

・ハウス加温/無加温の複合栽培のモデルであり、パート雇用が必要です。

※就農5年後のモデルであり、所得を保証するものではありません。

※農業経営では、天候等の気象条件や経営者の技術レベルによりこれらの値は変わります。

※ハウス資材等の高騰や農産物の販売価格の変動によって、経営費や収益は変動することがあります。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	▲	—	■	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	■	▲	—	■ ■	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■
	定植		半促成栽培		収穫		定植		抑制栽培		
									収穫		

・ ・ ・ ・ ・ 農業基礎（各講座共通研修） ・ ・ ・ ・ ・

各講座に共通する内容を全体研修として、農業をはじめる者が共通して身につけておく必要がある農薬、肥料、土壌等の基礎知識や経営管理の基礎知識、農機具の操作方法等の技術習得を目的に研修を行います。

◇全体研修（予定）

回数	日程	内 容
第 1 回	2 月	【座学】 農薬の知識と適正使用、安全使用
第 2 回	3 月	【座学】 土壌肥料の基礎知識と土づくり
第 3 回	5 月	【座学・実習】 農作業安全に関する基礎
第 4 回	11・12 月	【座学】 経営管理研修 ほか 【座学】 新規就農支援制度、就農相談（個別）

◇ところ／ JAしまね出雲地区本部（今市町 106-1）、出雲市役所（今市町 70） ほか



【 研修の様子 】



【 農作業の安全に関する研修 】

出雲市アグリビジネススクール 令和8年 受講申込書

チェック欄	講座名
←	ぶどうチャレンジ講座
←	柿チャレンジ講座
←	多伎いちじくチャレンジ講座
←	アスパラガス&神在ねぎチャレンジ講座
←	きゅうりチャレンジ講座

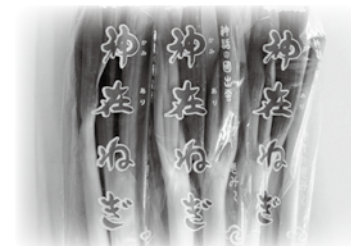
※受講申し込みをする講座のチェック欄に○印をつけてください。

ふりがな			
氏 名	生 年 月 日	年	月 日 (歳)
住 所	〒		
固定電話番号		F A X 番号	
携帯電話番号		傷 害 保 険 加入の有無	有 ・ 無
Eメールアドレス			
勤 務 状 況	①勤めている ②勤めていない ③農林大学校へ行っている ④その他 ()		
志 望 動 機	※必ずお書きください。		
志望後の目的	①自営就農(専業) ②定年帰農 ③農業法人等で雇用又は農繁期のサポート雇用 ④その他 ()		
連絡事項等	※質問・要望等がありましたらお書きください。		

※お寄せいただいた個人情報はアグリビジネススクールの運営目的以外には使用しません。

申 込 先	出雲市役所 農業振興課 農業支援センター内 アグリビジネススクール
	【住 所】〒693-8530 出雲市今市町70 出雲市役所 5 階
	【電 話】0853-21-6122 【FAX】0853-21-6998
	【E-MAIL】industry@city.izumo.shimane.jp

出雲市には、全国に誇るたくさんの特産品があります。
みなさんもアグリビジネススクールで、この栽培技術を
学び、出雲で農業をはじめてみませんか！！



出雲で農業を始めたい！

1年を通じ一連
の栽培を体験で
きます。

アグリビジネススクールを受講する

自分に適した就農のパターンを見つけよう！

自分で農業経営を行いたい！

さらに、
栽培技術を
習得！

島根県立農林大学校
短期養成コース
＋
受入農家での研修

就農計画の作成
農地の確保

認定新規就農者になる

自営就農
(専業)

他の仕事に従
事しながら小
規模で栽培し
販売を行う。

農地の確保
など

小規模・
兼業農業

学んだ栽培
技術で第二
の人生を！

農地の確保
など

定年帰農

雇用されて農業に携わりたい！

学んだ栽培
技術で農業
法人等に就
職！

マッチング

農業法人等
で雇用

学んだ栽培
技術で繁忙
期の農家の
戦力に！

マッチング

農繁期の
サポーター

※アグリビジネススクール受講後のフローチャート(一例)です。

※実際には、個々の状況に応じて異なります。

※詳しくは、出雲市役所 農業支援センターにご相談ください。

主催：出雲市農業再生協議会

共催：出雲市、島根県東部農林水産振興センター出雲事務所

島根県農業協同組合出雲地区本部

・ぶどう部会

・平田柿部会

・いちじく部会

・アスパラガス部会

・出雲神在ねぎ部会

・きゅうり部会

島根県農業協同組合斐川地区本部